

## 私の留学体験記

広島県立高陽東高等学校 2年 松村 穂果 (まつむら ほのか)  
留学期間 令和6年3月2日 ~ 令和6年3月15日 (14日間)  
留学先 Tauraroa Area School (ファンガレイ、ニュージーランド)

私は今回の留学でたくさんのことを学びました。ホストファミリーと初めて会った時、ホストマザーがたくさん話しかけてくれましたが学校の授業で聞く英語の何倍も速く、何の話をしていて、何を言っているのかが全く聞き取れませんでした。また、初めての留学で不安と緊張もあり英語もまともに話せませんでした。でも自分なりに一生懸命英語で伝えようと思いました。今思えば、文法も言い回しも出来ていなかったです。しかし、そんな英語でも伝わりました。発音などで通じなかったこともありましたが、通じない時はジェスチャー、写真を利用して自分の伝えたいことを伝えました。私は、相手に伝えたいことをいろいろな方法を使えば伝わること、相手も真剣に自分の言いたいことを理解しようとしてくれること、諦めずにチャレンジすることの大切さを学びました。徐々に不安や緊張もなくなり、耳も英語に慣れ、初めよりもちゃんとした文法の英語で話せるようになっていきました。たくさんのお話で日本とニュージーランドの違い、学校が終わった後の過ごし方、食文化などたくさんのお話を学びました。

学校では発音練習や現地生と一緒にスポーツやマオリ語を学びました。発音練習では自分が思っている発音をしていても伝わらないことがある、tは強調して発音はせず小さく発音すること、単語でいうのではなくつなげて読むことなど活きた英語を生で聞く、学ぶことの大切さを学びました。現地生の人はとてもフレンドリーでHelloと言ったら返してくれたり、日本語でこんにちはと言ってくれるなど親しみやすく、スポーツと一緒にして勝った時に喜んだりしました。もっとコミュニケーションが取れるように英語を頑張りたいと思いました。マオリ語は日本語の発音と似ていて言いやすく、特に一番覚えているのはKia Oraでこんにちはという意味です。現地生にKia OraというとKia Ora!!と返してくれてうれしかったです。

今回の留学で日本の文化のいいところ、広島のことをすべて伝えることができる英語力がないこと、相手の言いたいことをすべて聞き取れることが出来ないことなど、自分の英語力がまだまだなことを痛恨し、それでもあきらめずに言いたいことをいろいろな方法で伝えられること、理解してもらった時の喜び、ニュージーランドと日本の違いなどたくさんのお話を学ぶことが出来ました。ニュージーランドに行く前よりも成長し、日本では見ることで出来なかった新しい世界を見る事が出来ました。この2週間で学び、感じたことを忘れずに日々の勉強を頑張ろうと思いました。この貴重な経験をさせてくれた親への感謝も忘れずにこの経験を活かしていきたいです。